

建築・都市空間と余暇活動の相関に関する研究（その 21）

日大生産工（院） ○小沼 俊介 日大生産工 川岸 梅和
日大生産工 北野 幸樹

1. 研究の目的

本研究は、既報¹⁾「建築・都市空間と余暇活動の相関に関する研究（その 1～20）」に引き続く一連の研究である。

前報では、居住者が行う余暇活動を時間的・空間的側面から捉えると共に、生活・コミュニティ活動を居住年数の視座から検討することにより、余暇活動及びコミュニティ活動の評価の実態を明らかにした。

本報では、居住者が行う余暇活動を時間的・空間的側面から捉えると共に、生活・コミュニティ活動を定住意識の有無の視座から検討することにより、近隣空間における余暇活動と余暇空間の傾向的特性を明らかにすることを目的としている。

2. 調査概要

2. 1 調査対象地域

一連のまちづくりの終息段階となっている、幕張ベイタウン・パティオスは、現在、居住開始から 15 年が経過している。まちづくりを担ってきた千葉県企業庁が行政改革の一環として、その事業を平成 24 年度で終了させることに伴い、幕張ベイタウンの公共施設の管理が千葉市に移管される予定となっており、居住・生活環境を持続する為に、より居住者、行政、事業者等の相互理解と協働が必要とされている。調査対象住棟^{注1)}を図 1 及び表 1 に示す。

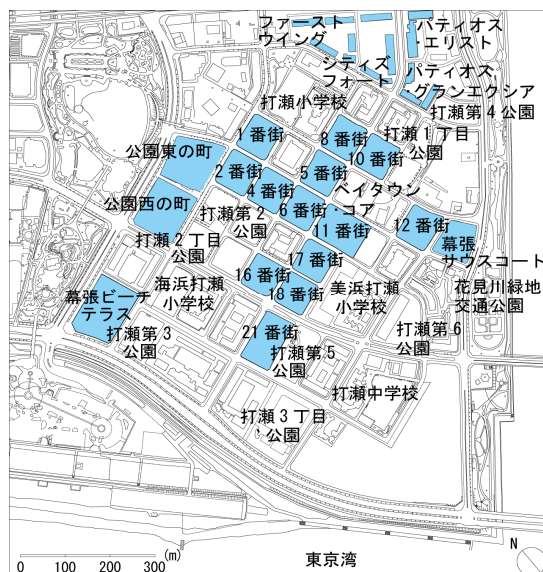


図 1 幕張ベイタウン・パティオス

2. 2 調査方法

幕張ベイタウン・パティオスの居住者を対象に、アンケート調査（2009 年 8 月）を実施した。アンケート調査は、各住棟の代表者（自治会）を通じて各住戸に配布し、住棟及びベイタウン・コア^{注2)}に設置した回収ボックスにて回収した。アンケート調査の内容は、居住者の基本属性、居住年数、居住理由、定住意識、生活環境の評価、余暇活動の実態、生活・コミュニティ活動の状況、幕張ベイタウンでの行事について等である。尚、アンケート調査の実施概要は表 2 の通りである。

表 1 調査対象住棟の概要

番街	竣工年度	建築形態	住戸数
1番街	平成7年3月	地上6階・棟屋1階 鉄筋コンクリート造	117戸 (賃貸12戸) 店舗4区画
2番街	平成7年3月	地下1階・地上6階・棟屋1階 鉄筋コンクリート造	132戸 (賃貸14戸) 店舗5区画
4番街	平成7年3月	地上7階 鉄筋コンクリート造	110戸 (賃貸11戸) 店舗4区画
5番街	平成7年3月	地上6階 鉄筋コンクリート造	113戸 (賃貸12戸) 店舗7区画
6番街	平成7年3月	地上6階 鉄筋コンクリート造	118戸 (賃貸12戸) 店舗6区画
8番街	平成8年3月	地下1階・地上6階・棟屋1階 鉄筋コンクリート造	130戸 (賃貸26戸) 店舗区画なし
10番街	平成8年3月	地下1階・地上6階・棟屋1階 鉄筋コンクリート造	120戸 (賃貸24戸) 店舗区画なし
11番街	平成8年3月	地下1階・地上8階 鉄筋コンクリート造	190戸 (賃貸38戸) 店舗8区画
12番街	平成8年3月	地下1階・地上6階 鉄筋コンクリート造	136戸 (賃貸28戸) 店舗区画なし
16番街	平成9年3月	地下1階・地上6階 鉄筋コンクリート造	112戸 (賃貸12戸) 店舗5区画
17番街	平成9年3月	地下1階・地上7階 鉄筋コンクリート造	125戸 (賃貸13戸) 店舗4区画
18番街	平成9年3月	地下1階・地上6階 鉄筋コンクリート造	115戸 (賃貸12戸) 店舗3区画
21番街	平成13年12月	地上7階 鉄筋コンクリート造	200戸 (賃貸16戸) 店舗5区画
パティオスエリス	平成18年1月	地上21階・棟屋1階 鉄筋コンクリート造	184戸
パティオスグランエクシア	平成16年1月	地上14階 鉄筋コンクリート造	188戸
幕張サウスコート	平成16年3月	地上14階 鉄筋コンクリート造	220戸
シティーズフォート	平成15年6月	地上19階 鉄筋コンクリート造	383戸
ファーストウイング	平成17年1月	地上19階 鉄筋コンクリート造	410戸
幕張ビーチテラス	平成19年3月	地上18階 鉄筋コンクリート造	366戸 (賃貸17戸)
グランパティオス公園西の町	平成12年2月	地下1階・地上9～14階 鉄筋コンクリート造	385戸 (賃貸29戸)
グランパティオス公園東の町	平成11年7月	地下1階・地上9～14階 鉄筋コンクリート造	385戸 (賃貸30戸) 店舗8区画

表 2 アンケート調査の概要

	配布戸数	配布部数	回収部数		
			世帯主	配偶者	合計
配布・回収部数	250	750	86	71	157
回収率			34.4%	28.4%	31.4%

3. 調査結果

3. 1 年齢構成 (表 3)

年齢構成に関しては、世帯主・配偶者共に 40 代の割合が高くなっている。また、80 歳以上の居住者はおらず、30～50 代の割合は全体の 7 割を超えているという結果が見られた。このことより、パティオスでは中年層の居住者が多く住んでいると言える。

3. 2 定住意識の有無 (図 2)

定住意識の有無に関しては、「ずっと住むつもり」と答えた居住者（以下、定住予定者と称する）の割合が世帯主・配偶者共に最も高く、63.1%・61.8%となっている。また、「定年になるまで」及び「転居するまで」、「子供が独立するまで」、「子どもが学齢期に達するまで」、「より良い物件が見つかるまで」、「人に貸して、自分は住むつもりはない」、「転居する予定」と答えた居住者（以下、転居予定者と称する）は、世帯主が 36.8%、配偶者が 38.2%となっており、多くの居住者がパティオス及び現在住んでいる住棟に定住する意思があると言える。

3. 3 余暇活動時間量・項目からみた余暇活動の実態

居住者が各種の余暇活動をどのような生活空間、余暇関連施設・空間で行っているか、その余暇活動に費やす時間量及び活動頻度はどのようなものであるかについて実施したアンケート調査結果に基づき、余暇活動を分類（71 項目 13 分類）し、余暇活動分類毎の活動時間量を算定した。尚、時間量の算定方法及び余暇活動分類は既報と同様である。

1) 個人または数人で行う余暇活動 (表 4)

個人または数人で行う余暇活動として、世帯主における主要な余暇活動分類（上位 3 分類）は、「ゲーム」（180.0 分/回）、「スポーツ見学」（168.6 分/回）、「交際」（140.0 分/回）となっている。また、配偶者における主要な余暇活動分類（上位 3 分類）は、「スポーツ見学」（231.4 分/回）、「飲食」（148.8 分/回）、「マスメディア」（135.0 分/回）となっている。パティオス居住者において、時間量の多い「スポーツ見学」の余暇活動の受け皿となっている空間はパティオスから 0.8～1.5km 圏域に位置している千葉マリンスタジアムであり、パティオス居住者の特徴的な余暇活動の 1 つとなっている。

余暇活動を行っている空間（場所）までの交通手段としては、「なし（自宅及び住棟内）」及び「徒歩・自転車」の割合が世帯主では 88.9%、配偶者 77.3%と高くなっている。このことから、個人または数人で行う余暇活動に関しては、生活空間としての「個室空間」「家・庭空間」「近隣空間」が主要な余暇空間になっていると言える。

2) 団体・グループで行う余暇活動 (表 5)

余暇活動分類の内、「団体活動」として行われている余暇活動（緑化ボランティア、絵画・コーラス・料理・散歩等のサークル等）では、世帯主においては 144.0 分/回、配偶者においては 131.7 分/回となっている。団体活動が行われる主要な活動空間として「ベイタウン・コア」が挙げられる。

表 3 年齢構成

		世帯主	配偶者	全体
年齢構成	1～9歳	0.0%	0.0%	0.0%
	10～19歳	0.0%	0.0%	0.0%
	20～29歳	1.2%	1.4%	1.3%
	30～39歳	14.1%	20.3%	16.9%
	40～49歳	34.1%	40.6%	37.0%
	50～59歳	22.4%	20.3%	21.4%
	60～69歳	17.6%	15.9%	16.9%
	70～79歳	10.6%	1.4%	6.5%
	80歳以上	0.0%	0.0%	0.0%
合計		100.0%	100.0%	100.0%

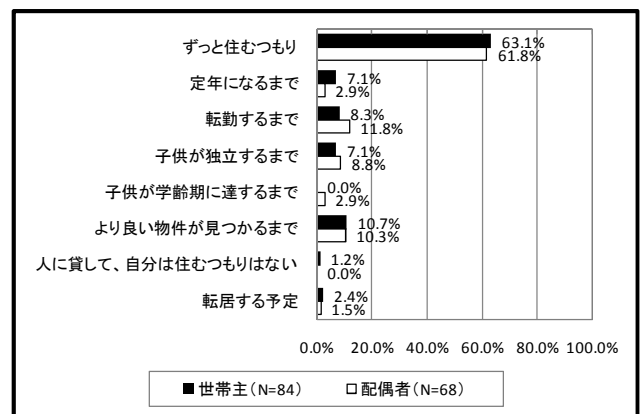


図 2 定住意識の有無

表 4 個人または数人で行う余暇活動

世帯主		交通手段 (%)			
余暇活動分類	平均余暇活動時間量 (分/回)	なし(自宅及び住棟内)	徒歩及び自転車	車及び電車	その他
創作	105.0	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
教養・文化	98.7	55.3%	40.4%	4.3%	0.0%
スポーツ	86.5	0.0%	96.2%	3.8%	0.0%
スポーツ見学	168.6	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
ショッピング	83.2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
ゲーム	180.0	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
マスメディア	120.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
休息	30.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
交際	140.0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
飲食	117.3	0.0%	63.6%	36.4%	0.0%
全体	112.9	21.4%	67.5%	11.0%	0.0%

配偶者		交通手段 (%)			
余暇活動分類	平均余暇活動時間量 (分/回)	なし(自宅及び住棟内)	徒歩及び自転車	車及び電車	その他
創作	123.8	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%
教養・文化	81.7	66.7%	25.6%	7.7%	0.0%
スポーツ	81.0	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%
スポーツ見学	231.4	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
ショッピング	99.2	3.2%	41.9%	54.8%	0.0%
ゲーム	45.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
マスメディア	135.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
休息	120.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
交際	120.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
飲食	148.8	0.0%	53.8%	46.2%	0.0%
全体	118.6	35.6%	41.7%	22.7%	0.0%

表 5 団体・グループで行う余暇活動

世帯主		交通手段 (%)			
余暇活動分類	平均余暇活動時間量 (分/回)	なし(自宅及び住棟内)	徒歩及び自転車	車及び電車	その他
団体活動	144.0	7.5%	90.0%	2.5%	0.0%

配偶者		交通手段 (%)			
余暇活動分類	平均余暇活動時間量 (分/回)	なし(自宅及び住棟内)	徒歩及び自転車	車及び電車	その他
団体活動	131.7	2.9%	94.1%	2.9%	0.0%

また、近隣の公園で団体活動を行っている居住者も多くみられる。このことから、居住者の団体・グループ活動の受け皿として、ペイタウン・パティオス内の施設・空間が役割を担い、良好に機能していると言えよう。

3. 4 定住意識の有無からみた生活・コミュニティ活動の良い点・悪い点 (図3、4) (複数回答可)

生活・コミュニティ活動の良い点として、全ての居住者(世帯主・配偶者)において、「居住者の相互理解が深まる。新しい人間関係が育つ。」の割合が最も高くなっている。定住予定者及び転居予定者の世帯主では、次いで「自分の住戸だけではなく、住宅全体で連帯感を持てる。」の割合が高く、各々63.6%・39.1%となっている。定住予定者の配偶者においては、「子供を育てたり、教育的・文化的環境として望ましい。」の割合が33.3%と次いで高くなっている。転居予定者の配偶者においては、「共用施設が役立っていること。」の割合が50.0%と高くなっている。また、全ての居住者を概観すると、「管理規約等のルールにより、快適に過ごさせていること。」の割合が低く、生活・コミュニティ活動の良い点としては認識されていない傾向がみられる。

生活・コミュニティ活動の悪い点として、全ての居住者において、「個人の役割負担が多い。」の割合が最も高く、次いで「対人関係に神経を使いすぎること。」の割合が高くなっている。また、転居予定者の配偶者においては、「対人関係に神経を使いすぎること。」が、「個人の役割負担が多い。」と同率で最も高い割合となっている。このことは、生活・コミュニティ活動の良い点として「管理規約等のルールにより、快適に過ごさせていること。」の割合が低いことと関連していると考えられると共に、住棟や中庭等の共用空間の管理・運営体制と役割分担について、少なからず不満を持っている居住者が多いと考えられ、居住者間の相互理解と協同・協働活動への参加方策づくりが求められると言えよう。

3. 5 近隣空間で行われる行事について

1) 幕張ペイタウンでの行事について (図5、6)

幕張ペイタウンでの行事において、定住予定者の世帯主及び転居予定者の配偶者で参加層の割合が各々75.7%・66.7%と高くなっている傾向が窺える。転居予定者の世帯主では、「なかなか参加できていない。」の割合が34.8%と最も高くなっている現状が明らかとなった。また、定住予定者の配偶者においては、不参加層の割合の方が高いという結果となった。しかし、行事そのものには、全ての居住者において、「非常に有意義だと思う。」の割合が最も高くなっている。

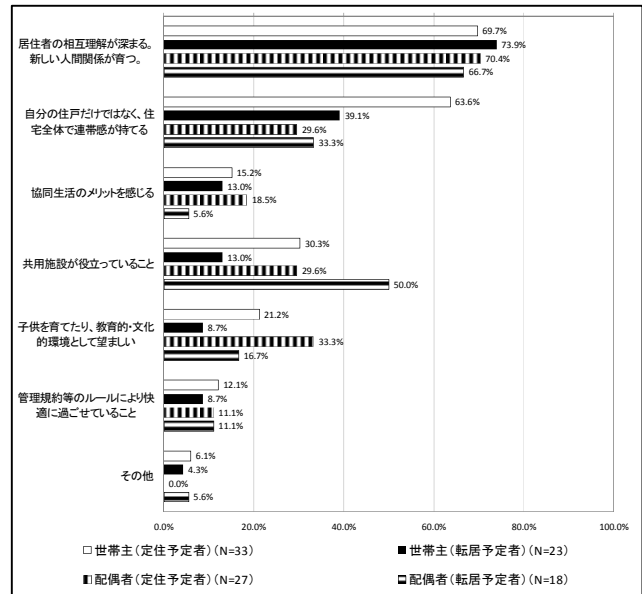


図3 コミュニティ活動の良い点 (複数回答可)

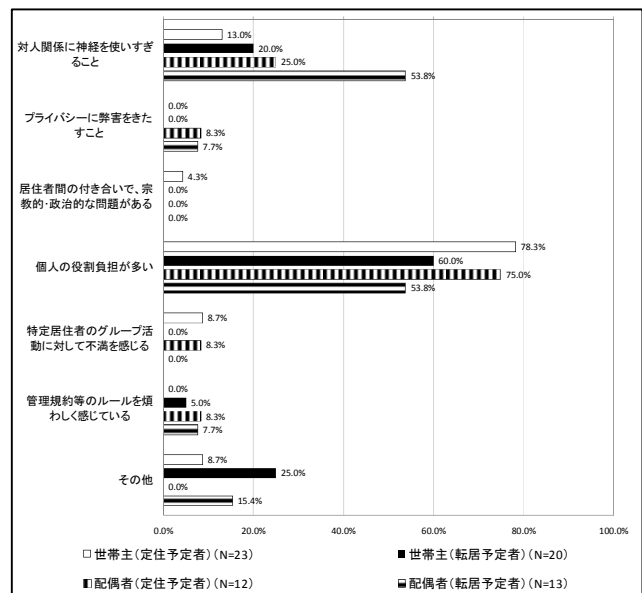


図4 コミュニティ活動の悪い点 (複数回答可)

2) 現在住まわれている住棟での行事について (図7、8)

現在住まわれている住棟での行事については、全ての居住者において、「できるだけ参加。」の割合が最も高くなっている。また、定住予定者の世帯主及び転居予定者の世帯主・配偶者では参加層の割合が各々76.6%・56.0%・81.4%と高い現状が窺える。一方で、定住予定者の配偶者においては、「関心が無いので参加していない。」が28.0%と次いで高い割合となっている。現在住まわれている住棟での行事の評価としては、「非常に有意義だと思う。」と共に「少々問題を感じるが、有意義だと思う。」の割合も高くなっており、特に定住予定者の配偶者においては、41.7%と最も高い割合となっており、行事への参加状況での「関心が無いので参加していない。」の割合が高いことと関連していると考えられる。

4. まとめ

本報では、幕張ベイタウン・パティオス居住者の余暇活動及び生活・コミュニティ活動の実態に基づいて、活動と空間の関係の側面から検討した。

スポーツ見学にかかる時間量の多さが特徴的であり、飲食、教養・文化、創作、団体活動等、多様な活動が近隣空間で行われており、ベイタウンに立地する施設が積極的に利用され、活動の受け皿として良好に機能している。

生活・コミュニティ活動については、居住者同士の相互理解や人間関係の構築にとって、共用施設や行事が良好に機能している。その一方で共用空間の管理・運営体制や行



写真1 ベイタウン祭り
(2009年8月)



写真2 住棟の中庭での納涼祭
(2009年9月)

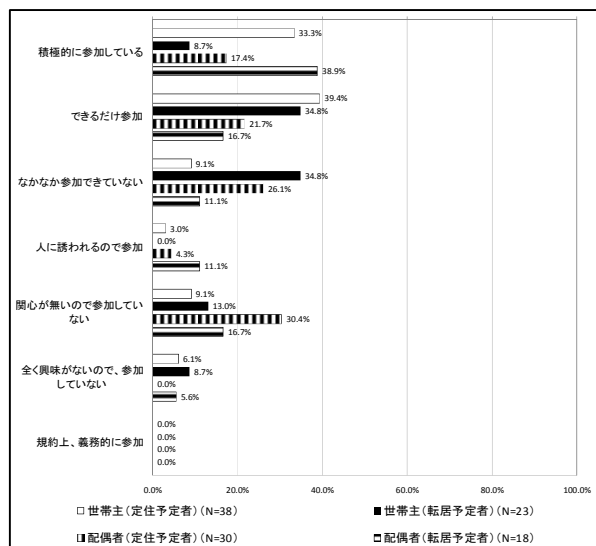


図5 幕張ベイタウンでの行事への参加状況

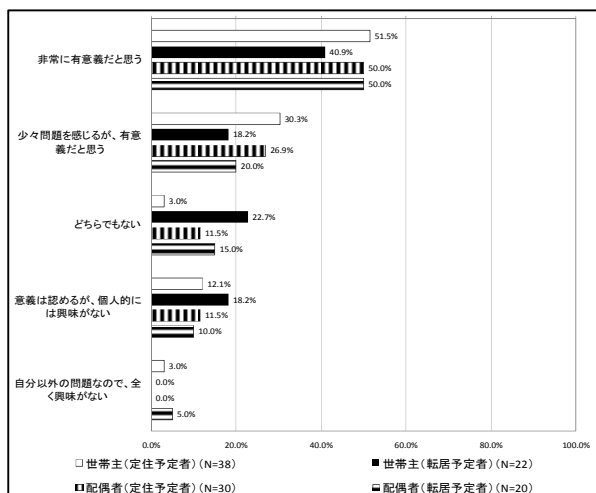


図6 幕張ベイタウンでの行事について

事等への参加等、個人の役割負担について少なからず不満を感じている居住者が多い傾向がみられる。行事に対し、有意義だと感じている居住者が多い中で、今後、運営体制や共用空間の管理・維持等について、居住者間でより一層の相互理解と協同・協働活動が求められると言えよう。

注

- 1) 幕張ベイタウン自治会連合会に参加している住棟(自治会)を調査対象としている。自治会連合会は、常設委員会(8委員会)、特別委員会(3委員会)により組織され、毎月1回の定例会合を行い、活動内容・実績、活動計画等を報告・審議すると共に、積極的な参加・活動が行われている。
- 2) 幕張ベイタウン・コアは、住民が設計段階から関わりながら千葉県企業庁により建築された。管理・運営は千葉市によるが、居住者が積極的に運営に参画している。公民館、図書館、子供ルーム、多目的ホールからなる、居住者と行政の協働による生涯学習の受け皿としての空間・機能を有する。

本研究に関連する既発表論文

- I) 川岸梅和、北野幸樹、他：建築・都市空間と余暇活動の相関に関する研究(その1～その20)、日本大学生産工学部学術講演会建築部会講演概要、第25回、pp.167～174、1992.12、第26回、pp.137～144、1993.12、第27回、pp.193～200、1994.12、第28回、pp.161～164、1995.12、第29回、pp.257～264、1996.12、第33回、pp.133～136、2000.12、第34回、pp.77～80、2001.12、第35回、pp.41～48、2002.12、第36回、pp.239～242、2003.12、第37回、pp.217～220、2004.12、第38回、pp.245～248、2005.12、第39回、pp.151～154、2006.12、第40回、pp.157～160、2007.12、第41回、pp.251～254、2008.12、第42回、pp.149～152、2009.12
- II) 川岸梅和、北野幸樹：近隣余暇関連施設に関する研究 その1、日本建築学会計画系論文集 第487号、pp.167～176、1996.9、その2、第498号、pp.153～159、1997.8、その3、第73巻、第628号、pp.1221～1229、2008.6

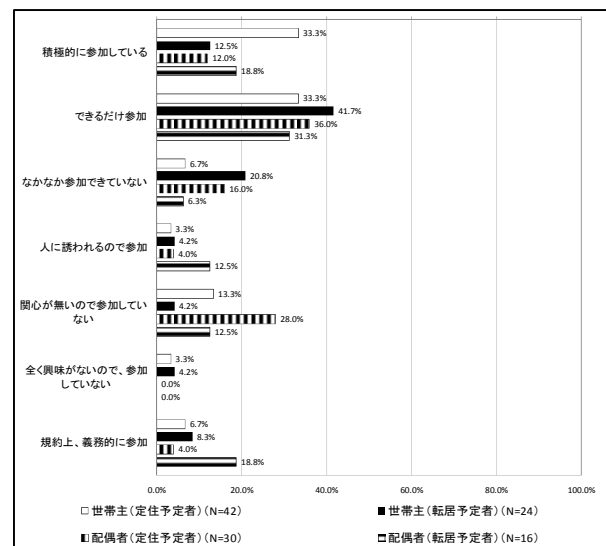


図7 住まわれている住棟での行事への参加状況

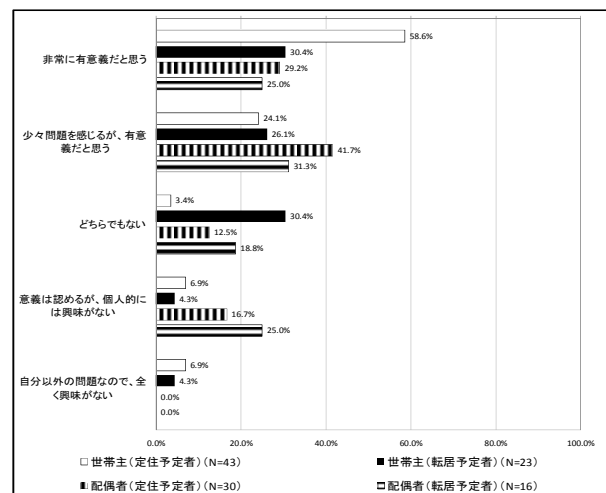


図8 住まわれている住棟での行事について